

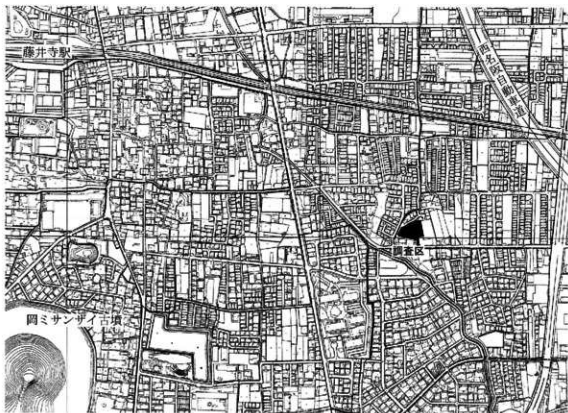
藤井寺市発掘調査概報 第9号

西古室遺跡 (NK2011-3区)



2012年9月

藤井寺市教育委員会



調査区位置図 (1:7500)

西古室遺跡 (NK2011 - 3区)

位置と環境

調査区は、羽曳野丘陵から派生する下位段丘上に位置する。東25mのNK87-1区、北に接するNK90-1・04-3区の調査では、古代の掘立柱建物が検出されている。このことから、周辺には古代集落が発見することがわかる。今回の調査は、このような古代集落の広がりを確認することを主な目的として実施した。

調査の経過

宅地造成に伴う文化財保護法第93条第1項の届出が提出されたため、申請者の依頼を受けて、道路建設部分にトレンチを設定した。調査面積は、275㎡である。

トレンチ東側では、全体的に現代の盛土(第1層)に覆われており、これを除去すると旧耕土(第2層)が堆積している。その下に灰黄色細砂(第3層)があり、これを除去すると地山である。暗灰色細砂(一部に黄灰色砂礫の部分あり)があらわれる。なお、南側では第2層及び第3層が認められず、第1層の下にすぐに地山があらわれる。

トレンチ西側では、現代の盛土である第1層は認められない。そして第2層の下、暗灰色細砂(第15層)、灰黄色細砂(第3層)と続き、その下に地山があらわれる。地山レベルは、トレンチ北端でT.P.22.4m、南端でT.P.22.6m、西端でT.P.22.4mと、北方向に緩やかに下降する。地山上で、掘立柱建物、溝、掘り込み等を検出した。

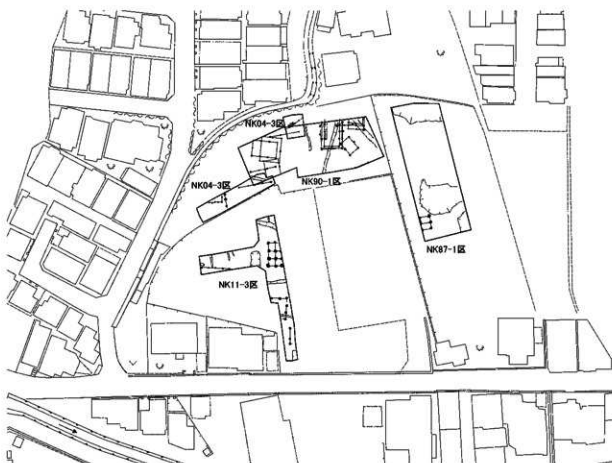


図1 調査区周辺図 (S = 1 : 1000)

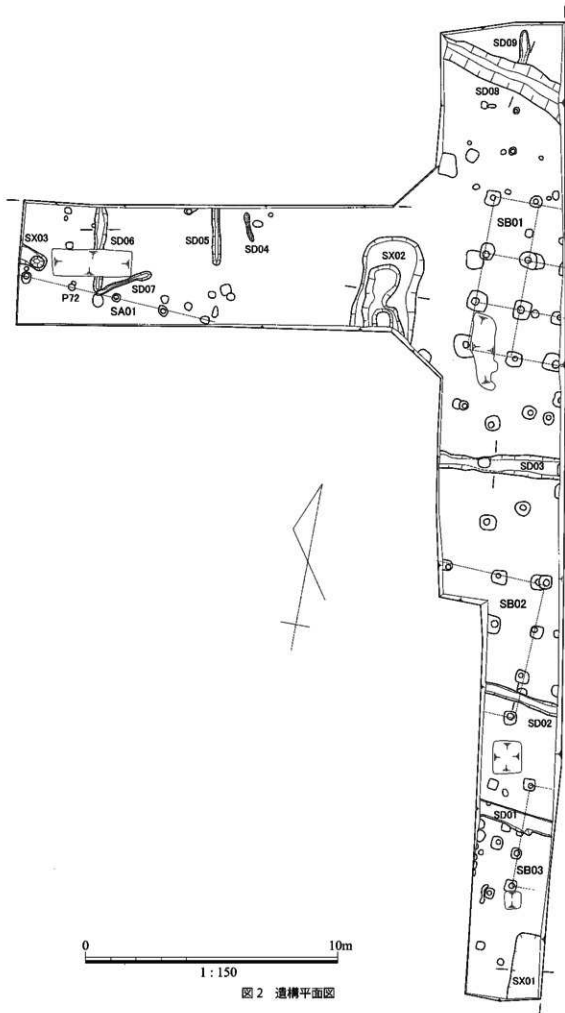


図2 遺構平面図

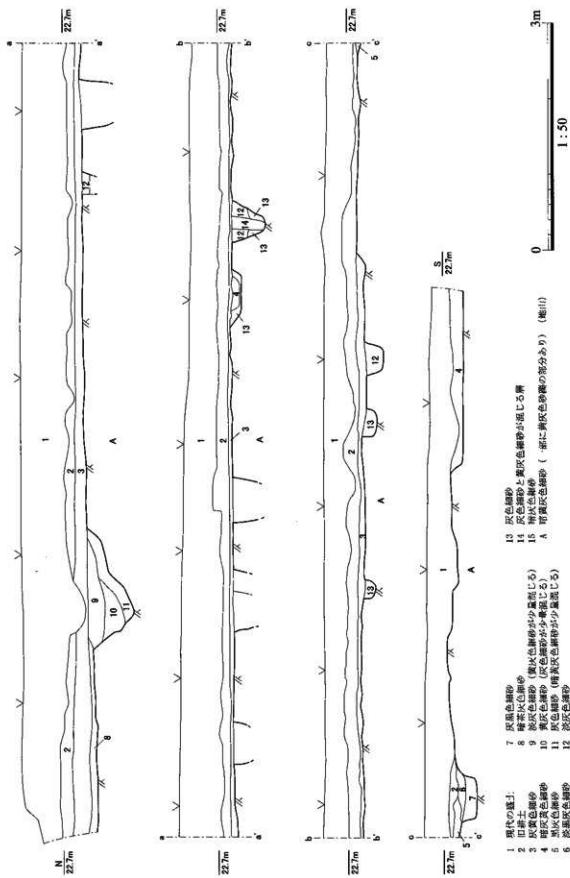


図3 トレンチ東陸断面図

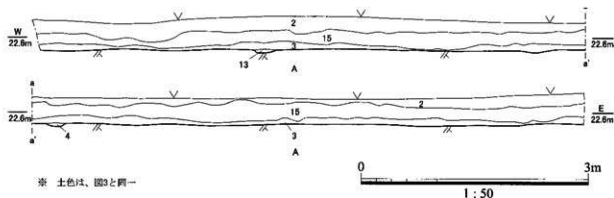


図4 トレンチ北壁断面図

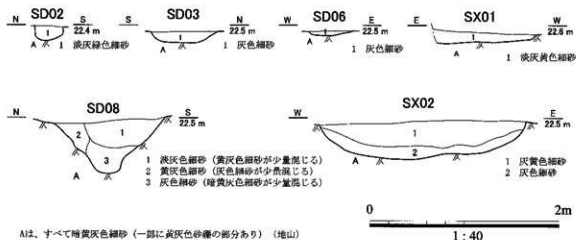


図5 各遺構断面図

調査の成果

SB01 トレンチ北側で検出した2間以上×3間の総柱の建物。倉であると考えられる。主軸はほぼ南北方向である。柱間は東西方向1.5～1.7m程度、南北方向1.8～2.2m程度、全長は南北方向5.9m程度であるが、柱の並びはやや不揃いである。柱掘方の平面形態は隅丸方形を呈することを基本としており、一辺0.4～0.8m程度である。

SB02 トレンチ中央南寄りで検出した2間以上×3間の建物。主軸はほぼ南北方向である。柱間は東西方向1.9m程度、南北方向1.6～1.8m程度、全長は南北方向5.3m程度である。柱掘方の平面形態は隅丸方形を呈し、一辺0.5～0.6m程度である。

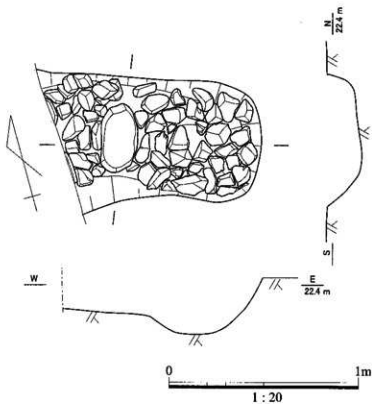


図6 SX03平面・断面図

SB03 トレンチ南側で検出した南北2間以上の建物。主軸はほぼ南北方向である。柱穴は削平により消滅したのもあると考えられるが、確認できるもので柱間は1.2mである。柱掘方の平面形態は隅丸方形を呈し、一辺0.4～0.5m程度である。

SA01 トレンチ西側で検出した4間以上の櫓。主軸方向はN-86°-Wである。柱間は1.7～1.9m程度で、長さは7m以上あることがわかる。

SX03 トレンチ西端で検出した掘り込み。最大幅0.7m程度、検出面からの深さは最大で0.3m程度を測る。埋土は黄灰色細砂の混じる黒灰色細砂である。底面に0.1m前後の大きさの石を敷詰めており、その中に長径0.35m程度、短径0.18m程度の大きさの楕円形の石を平坦面を上に向けた状態で1つ置いている。この掘り込みは、石の上で何らかの作業を行うための施設で合ったと思われる。出土した土器片は9世紀代の所産であり、この掘り込みの廃絶の上限も同時期に求められる。

他に古代の所産と考えられる遺構は、SD02～06・08・

09、SX01・02がある。SX02は、出土した土器片が8世紀代の所産であることから、埋没の上限も同時期に求めることができる。

なお、SD01は近代以降の所産である。

今回の調査でも古代集落のさらなる広がりを確認できたことは大きな成果である。

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 淡灰色細砂 | 8 暗灰色細砂 |
| 2 黄灰色細砂 | 9 黄灰色細砂 (灰色細砂混じり) |
| 3 灰色細砂 | 10 灰白色細砂 |
| 4 灰色細砂と黄灰色細砂が混じる層 | 11 明黄灰色細砂 |
| 5 黄灰色細砂と淡灰色細砂が混じる層 | 12 黄色細砂 (灰色細砂混じり) |
| 6 暗灰白色細砂 (黄灰色細砂混じり) | A 暗黄灰色細砂 (一部に黄灰色砂礫の部分あり (竜山)) |
| 7 暗黄色細砂 | |

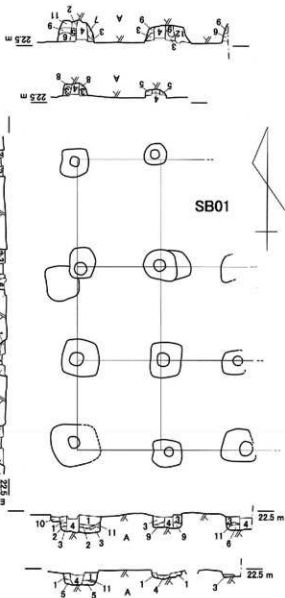


図7 SB01平面・断面図



図8 P72出土黒色土器実測図

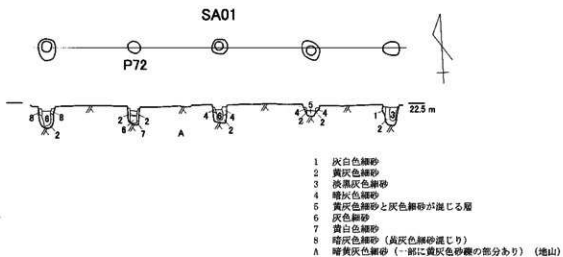
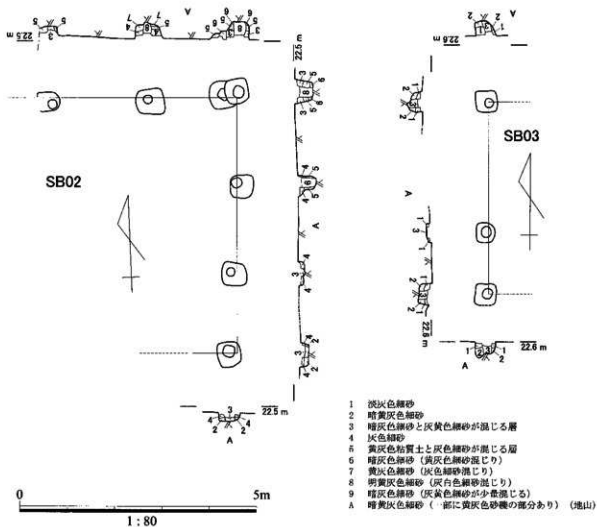


図9 SB02・03、SA01平面・断面図



トレンチ全景 (北より)



トレンチ全景 (南より)



トレンチ (東より)



トレンチ (西より)



SX03 (東より)



P72 出土黒色土器

《参考文献》

- 高山正久 1988 「西古室遺跡 NK87 - 1 区」 『石川流域遺跡群発掘調査報告』 III 藤井寺市教育委員会
天野末喜 1991 「西古室遺跡 NK90 - 1 区」 『石川流域遺跡群発掘調査報告』 VI 藤井寺市教育委員会
上田 睦 2006 「西古室遺跡 NK04 - 3 区」 『石川流域遺跡群発掘調査報告』 XXI 藤井寺市教育委員会

例 言

- 1 本書は、分譲住宅建設に伴い2011年度に実施した、西古室遺跡（NK2011－3区）発掘調査の概要報告書である。調査地は、藤井寺市西古室1丁目90－1、－2の一部、－3、92－2の一部に所在する。
- 2 調査は、申請者の依頼を受け、藤井寺市教育委員会事務局教育部文化財保護課が実施した。期間は、現地調査（外業）2011年7月22日～年8月10日、整理作業（内業）2012年5月21日～7月6日である。
- 3 調査及び本書の作成は、新聞義夫、今荘ひとみ、木本泰、寺嶋理恵、深尾まき子が行なった。
- 4 写真の撮影は新聞と深尾が行なった。
- 5 図面の方位は、特に断りのない限り座標北を使用した。標高はT.P.を用いた。トレンチ位置図は、上を座標北とした。

報告書抄録

ふりがな	にしこむろいせき
書名	西古室遺跡
副書名	NK2011－3区
シリーズ名	藤井寺市発掘調査概報
シリーズ番号	第9号
編著者名	新聞義夫
編集機関	藤井寺市教育委員会
所在地	〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号 TEL 072-939-1111 内
発行年月日	西暦 2012年9月7日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にしこむろいせき 西古室遺跡	大阪府 藤井寺市 西古室	27226	50	34° 34' 06"	135° 36' 10"	現地調査（外業） 2011年7月22日 ～8月10日 整理作業（内業） 2012年5月21 日～7月6日	275	宅地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西古室遺跡	集落跡	古代	掘立柱建物、溝、掘り込み	土師器、須恵器、 黒色土器	

藤井寺市発掘調査概報 第9号

西古室遺跡（NK2011－3区）

発行日 2012年9月7日
 編集・発行 藤井寺市教育委員会事務局
 藤井寺市岡1丁目1番1号
 TEL (072) 939-1111 内
 印刷 株式会社近畿印刷センター
 柏原市本郷5丁目6番25号

